

招 集 期 日	令 和 2 年 4 月 15 日 (水)		会 議 の 場 所	301 会 議 室
会 議 の 時 刻 及 び 宣 告 者	開 会 の 時 刻	午 後 1 時 30 分	開 会 者	教 育 長
	閉 会 の 時 刻	午 後 2 時 45 分	閉 会 者	教 育 長
委 員 出 席 状 況				
氏 名	摘 要	氏 名	摘 要	
秋 本 文 子 教 育 長	出 席	平 野 博 之 委 員	出 席	
柿 沼 拓 弥 教 育 長 職 務 代 理 者	出 席	岩 崎 智 子 委 員	出 席	
高 瀬 賢 一 委 員	出 席			
議 事 参 与 者 及 び 説 明 の た め の 出 席 者	川 島 学 校 教 育 部 長	寺 崎 生 涯 学 習 部 長	須 永 教 育 総 務 課 長	大 久 保 学 校 教 育 課 長
	小 島 学 校 給 食 セ ン タ ー 所 長	今 成 生 涯 学 習 課 長	佐 藤 ス ポ ー ツ 振 興 課 長	根 岸 図 書 館 長 兼 郷 土 資 料 館 長
書 記 名	教 育 総 務 課 総 務 係 横 山			
会 議 事 件 名	て ん 末			
開 会	教 育 長	4 月 定 例 教 育 委 員 会 を 開 会		
日 程 第 1 前 回 会 議 録 の 承 認	教 育 長	教 育 委 員 会 の 会 議 は 公 開 が 原 則 と な っ て い る が、人 事 に 関 す る 事 案 等 に つ い て 出 席 委 員 の 3 分 の 2 以 上 の 多 数 で 議 決 し た 場 合 は 非 公 開 と す る こ と が で き る。本 日 の 日 程 の 中 で 非 公 開 と す べ き 事 案 は な い た め、全 て 公 開 と し て よ ろ し い か。		
		異 議 な し の 声 あ り		
	教 育 長	3 月 定 例 教 育 委 員 会 の 会 議 録 に つ い て 諮 っ た		
	教 育 長	異 議 な し の 声 あ り		
	教 育 長	前 回 会 議 録 は、承 認 さ れ た 旨 宣 し た。		
	教 育 長	報 告 事 項 1 に つ い て、学 校 教 育 部 長 及 び 生 涯 学 習 部 長 か ら 説 明 を 求 め た。		

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第2 報告事項1 令和2年3月定例市議会提出(教育委員会関係)議案等について</p>	<p>学校教育部長</p>	<p>齊藤万紀子議員から、令和2年度羽生市一般会計予算について議案質疑があった。</p> <p>「岩瀬グローバルスクール事業について」は、岩瀬小学校では、平成27年より文部科学省から教育課程特例校の指定を受け、令和2年度は6年目となり、成果の発表の年を迎える。「生活科」や「総合的な学習の時間」等の一部を組み替え、全ての学年で「英会話科」を新設し、1年生から6年生まで系統的に、英語の学習に取り組んでいることを答弁した。</p> <p>「ALT 全校常駐配置について」は、ALT が普段から児童生徒と共にコミュニケーションを図り、気軽に外国語に親しんでいる面からも、十分な教育効果があると答弁した。</p> <p>「小中一貫教育の推進について」は、研修費用として、各中学校ブロック1万1千円ずつを計上しており、その使い道については、ファイルや、プリント・指導計画等の印刷に要する経費であることを答弁した。</p> <p>「地産地消の推進と羽生産米飯給食の提供について」は、主食の米については羽生産「彩のかがやき」を100%使用しており、埼玉県の高平均米飯給食日数が週3.0回であることにに対し、羽生市では2週間に7回提供していること、第2期羽生市教育振興基本計画における給食食材の地産地消率の目標指標として、平成30年度現在18.6%であるところを、令和5年度までに19%とすることを答弁した。</p> <p>「食育指導の実施について」は、10月から1月にかけて、市内全小中学校で、「給食ができるまで」「給食についての歴史」「食材の栄養素」「はしの使い方」「五大栄養素」など食に関する指導を実施している。さらに、毎年6月の食育月間、11月の彩の国ふるさと学校給食月間を実施しており、姉妹都市があるフィリピン、ベルギーの食文化に触れた給食を提供しているほか、和食についても学習し、食文化への理解を深めていると答弁した。</p> <p>「GIGA スクール構想の推進について」は、GIGA スクール構想整備事業の総事業費5億1,386万円の内訳は、校内情報通信ネットワークの整備費を令和元年度補正予算にて2億6,400万円、端末の購入費を令和2年度から令和5年度までの継続費にて2億4,986万円を計上している。こ</p>

会議事件名	て ん 末
	<p>れらに対する国からの補助金は、校内情報通信ネットワーク整備事業費の2分の1として1億3,200万円、端末の購入については、補助対象は必要台数の3分の2、補助金額は1台あたり4万5千円で、1億1,531万6千円を見込んでいることを説明した。また、教職員の指導体制の充実、指導力の向上については、児童生徒1人1台の端末を活用した指導が求められており、羽生市教育委員会としても、平成27・28年度に須影小学校、岩瀬小学校及び村君小学校で行った文部科学省委託事業であるフューチャースクール事業の研究成果を生かすとともに、先進地域の成果も集めながら研修体制を整えているところであることを答弁した。</p> <p>「児童生徒介助員の配置について」は、前年度に引き続き、29名の配置を予定している。任期は1年であるが、前年度から採用を継続するケースが多い状況である。配置場所の異動の際は、児童生徒への支援の仕方について、担任や特別支援コーディネーターから具体的な指示を受け、組織的かつ個々に応じた支援を行っていることを答弁した。</p> <p>斉藤隆議員から、令和2年度羽生市一般会計予算について議案質疑があった。</p> <p>「英語4技能テスト手数料173万3千円」については、「テストの実施時期」は、令和元年12月9日から12月20日までの期間で実施した。「テスト結果の英語習熟度の評価及び分析について」は、全ての小学校で全国平均値を超えており、「話す」「聞く」「読む」「書く」の4技能の市の平均値も、全て全国平均を超え、特に「聞く力」が大変高い状況であった。「英語学習の課題抽出の在り方について」は、テストの結果から各技能の習熟度を計ることが可能であるほか、アンケートの結果からも児童の英語学習に対する意識を調査し、課題の抽出、解決に取り組んでいく。「英語の習熟度の評価及び分析や課題抽出の在り方などについて教育委員会・学校・教員のかかわり方について」は、各校での課題解決に向けた取組を、教育研究会の外国語・外国語活動の主任会等で共有し、外国語教育の一層の</p>

会議事件名	て ん 末
	<p>推進を図る旨を答弁した。</p> <p>「教育用器具費 8,664 万 5 千円」については、「タブレットパソコンの配備時期及び調達のあり方について」は、校内情報通信ネットワーク整備の完了後、速やかに活用できるよう配備を進めること、県と市町村による共同調達による機器の購入を考えている。「タブレットパソコンの仕様について」は、文部科学省の「GIGA スクール構想の実現 標準仕様書」を参照して整備していく。「既存のパソコンとタブレットパソコンの使用の関係について」は、令和 5 年度までに配備する児童生徒 1 人 1 台の端末の整備が完了するまでは、既存のパソコンを並行して使用し、そのリース期間が終了した後は、更新を行わないこととなる。「タブレットパソコンの配備計画作成の根拠について」は、文部科学省より示されたタブレットパソコン整備のロードマップを参考に、令和 2 年度に小学校 5 年生、6 年生及び中学校 1 年生、令和 3 年度に小学校 4 年生、中学校 2 年生及び中学校 3 年生、令和 4 年度に小学校 2 年生及び小学校 3 年生、令和 5 年度に小学校 1 年生の児童生徒分を整備する計画を作成したと答弁した。</p> <p>「南中学校校舎大規模改造工事実施設計業務委託料 625 万 2 千円の事業内容」については、昭和 54 年の建築以来 40 年が経過している、南中学校校舎 B 棟(特別教室棟)について、校舎内装の塗装改修、照明器具の更新等の電気設備の改修、トイレの全面改修をはじめとする給排水衛生設備の改修等の設計積算を実施すると答弁した。</p> <p>齊藤隆議員から、令和元年羽生市一般会計補正予算(第 8 号)について議案質疑があった。</p> <p>「GIGA スクール構想整備事業 2 億 6,400 万円」については、「高速の通信性能について」及び「工事内容について」は、文部科学省の「GIGA スクール構想の実現 標準仕様書」において、児童生徒 1 人 1 台のタブレットパソコンを整備し、使用するにあたり、多くの機器が同時に通信することに耐えうる校内情報通信ネットワークの仕様が示されていること、今後整備する予定の LAN ケーブルや接続機器の仕様や通信速度について説明した。「教育環境の変化について」は、校内ネットワークがより高速になることで、授業に有効</p>

会議事件名	て ん 末
	<p>な動画やコンテンツがスムーズに視聴できるようになり、今後はより深い学びを構築していく探求型の授業へ少しずつ改善していくと答弁した。</p> <p>「中学校施設建設事業工事請負費 8,160 万円」については、南中学校及び東中学校の屋内運動場改修工事で実施する、天井材落下防止ネットの設置や、照明器具の改修の効果について答弁した。</p> <p>野中一城議員から、「中学校の部活動について」一般質問があった。「各中学校の部活動数及び合同チーム数について」は、西中学校は 14、南中学校は 12、東中学校は 12 の部活動があり、合同チームを編成している部活動は無いと回答した。「外部指導者の各中学校の状況について」は、西中学校で 10 名、南中学校で 1 名、東中学校で 8 名の外部指導者がおり、いずれも各競技において経験を有している地域の方などが指導していると回答した。「教職員の部活動時間や休業日の活動時間帯及び状況について」は、「羽生市の部活動の在り方に関する方針」を諮問委員会で協議し、平成 30 年 10 月 30 日に策定し、この方針に則って部活動を行い、平日は少なくとも 1 日、土曜日・日曜日は少なくとも 1 日以上以上の休養日を設けていると説明した。「今後の部活動の活性化及び教職員の部活動に係る勤務状況の改善への取組について」は、「部活動の活性化の取組」の具体例として、新部長を対象とした「リーダー研修会」の実施や、生徒の強化練習会への参加、対外試合の実施、教職員の「中学校・高等学校運動部活動指導者講習会」への参加等を挙げた。「教職員の部活動に係わる勤務状況の取組」としては、毎週または毎月、「家庭読書の日」や「家庭学習の日」、「ノーメディア・デー」などを設け、生徒を一斉下校させて部活動を行わない日を設定し、勤務状況の改善が図られている。羽生市教育委員会としても、生徒に部活動を行う楽しさを味わわせながら、教職員の働き方改革の視点も踏まえつつ、外部指導者の活用など適正な部活動の運営体制について支援していきたいと答弁した。</p> <p>斉藤万紀子議員から、『子どもの権利条約』を踏まえた教育について」一般質問があった。『子どもの権利条約』についてどう考えているかについては、基本的人権の尊重を基本理念に掲げる日本国憲法、教育基本法等と軌を一にするものであり、児童生徒の人権</p>

会議事件名	て ん 末
	<p>に十分配慮しながら、一人一人を大切にされた教育が行われなければならないことは、極めて重要な事であると回答した。「これまで『子どもの権利条約』についての研修を教職員に行ったことはあるか」については、羽生市では、子どもの権利条約の趣旨に沿った様々な研修に取り組んでおり、「羽生市人権教育研修会」では、教職員の人権教育の推進役としての資質を向上し、PTA 役員も一斉に集う羽生市独自の集会である「羽生市人権教育研究集会」では、学校・PTA における人権教育の推進を図る等、様々な機会を通して、「子どもの権利条約」の4つの権利である「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」についての研修を行っていることを説明した。「羽生市が『人権教育の推進』の中で行っている活動について」は、全ての小・中学校に人権教育推進委員会を設置し、「人権感覚育成プログラム」の積極的な活用、人権標語や人権作文の作成、人権教育週間における「思いやり」をテーマにした道徳の授業の実施、「いじめに関するアンケートや人権アンケート」等を実践していること、人権週間やいじめ防止強化月間には、学校ごとに児童生徒の主体的な活動を通して、人権感覚を養っていることを説明した。『『子どもの権利条約』について、子どもたちとともに考える場を設ける必要があると考えるが羽生市の方針は』については、中学校の社会科「公民」における「人権と共生社会」の単元で、「子どもの権利条約」について取り上げており、子どもたちは授業の中で、「子どもの権利条約」にある4つの権利についても学習しており、小学校の特別の教科道徳においても、6年生の教科書に「子どもの権利条約」の4つの権利が明記されている資料があり、授業の中で権利や義務について考え、話し合いをしている学校もあると答弁した。</p> <p>丑久保恒行議員から、「学力向上に向けた取組について」一般質問があった。「教育現場の現状の把握と分析について」は、羽生市教育委員会では、埼玉県学力・学習状況調査を起点として、独自の取組である「R-PDCA サイクル」を推進している。全体的には全国平均を下回っているが、詳細に分析すると、全国平均や県平均を上回っている領域や分野もあり、学力の伸びは少しずつではあるが、確実に差を縮めていることを説明した。「これまで、どのように対応し改善してきたかについて」は、年4回実施する羽生市</p>

会議事件名	て ん 末
	<p>学力向上推進委員会において、各学校の担当者が、授業改善を目指した「よい取組」を事例集としてまとめた。また、12月に実施している「羽生市学力アップテスト」は、令和元年度から小学校3年生まで対象を広げ、1年間の成果をその年のうちに振り返るチェック機能を果たしていることを説明した。「国語力アップの改善策について」は、文部科学省が「国語力」の中核となる「聞く」「話す」「読む」「書く」の4つの力を伸ばすためには読書が重要であると示しており、各校において図書館担当教諭と学校司書が連携して国語の並行読書の充実を目指し、書評合戦(ビブリオ・バトル)を取り入れ、総合的な国語力を磨こうという工夫も広がりを見せていることを説明した。「今後の学力向上に向けた改善策について」は、「R-PDCA サイクル」を今後も強化して推進するとともに、学力向上推進委員会において作成した授業改善指針「はにゆうの子」を活用し、全小中学校のさらなる授業力の向上を目指す。また、学力の尺度では測ることのできない「自制心」「自己効力感」等の「非認知能力」が学力向上に与える影響が大きいことが分かっており、このことについて各学校で研究していく。その他、GIGAスクール構想による児童生徒1人1台の端末整備の活用についてもしっかりと研究し、「子どもの力を最大限に引き出す学び」を実現しながら、学力向上を目指していくと答弁した。「ALTの活用について」は、ALTが日々指導力を高めていること、第3回全国プレゼンテーションコンクール in 羽生において新設した外国語の部では、出場校がALTを活用してプレゼン力を磨いたこと、昨年度、小学校6年生を対象に行った「GTEC Junior」で、聞く力の学校平均が市内すべての小学校で4段階のうち最上位のグレード4にまで達しており、ALTとのコミュニケーションの成果が現れ始めていることを説明した。「小中学校間の競い合いについて」は、羽生市教育振興基本計画において、全国及び埼玉県学力・学習状況調査における正答率の目標値を定めており、各学校でもこの目標を共有し、それぞれの学校で分析して得られた課題の解決を目指した方策が行われている。羽生市教育委員会としては、子どもたちの学力を伸ばす方策で有効なもの、授業改善を目指した各校の効果的な工夫については、成果、課題を共有しながら、質の高い授業が推進できるよう支援していくと答弁した。</p>

会議事件名	て ん 末	
	生涯学習部長	<p>齊藤万紀子議員から、令和2年度羽生市一般会計予算について議案質疑があった。</p> <p>「人権研修会等啓発事業の推進について」は、同事業費の総額484万7千円の内訳は、生涯学習課予算の、主に集会所で行われる、小・中学生学級、女性教養講座、成人教養講座、高齢者学級の講師謝金443万7千円及び毎年、産業文化ホールで開催している人権教育研修会の講演委託料38万円、人権推進課予算の地区別で実施している、市民を対象とした人権問題研修会の講師謝金3万円となっている旨を答弁した。</p> <p>齊藤隆議員から、令和2年度羽生市一般会計予算について議案質疑があった。</p> <p>「受変電設備改修工事請負費1億4,630万円」は、「受変電設備のPCB処理について」は、産業文化ホールの受変電設備の機器の内、PCBの含有を分析する検査が未実施であるコンデンサ4点は、今回の工事に合わせて検査を行い、PCBが検出されたときには、適正に処分することを説明した。「工事開始時期および終了時期について」は、令和2年9月上旬に工事を開始し、令和3年3月下旬に終了する予定であると回答した。「産業文化ホールの使用制限について」は、令和3年の2月、3月の2ヶ月間を閉館する予定で検討していると回答した。「産業文化ホールの使用料等収入の影響及び指定管理者との調整について」は、産業文化ホールの使用料等は、売り上げがそのまま指定管理者の収益となるため、閉館する期間に応じて、損失となる額が変わる。このため、工事工程や閉館期間などを工夫し、できるだけ損失補償が発生することがないように、指定管理者と打合せを重ね調整していく旨を答弁した。</p> <p>増田敏雄議員から、「成人式について」一般質問があった。「成人式に、何社のテレビ局、ラジオ局、新聞社等が取材に来ていたか」については、埼玉新聞社と、羽生・加須・行田地域密着生活情報誌「とねじん」が取材に来たと回答した。「お金をかけずに参加率や参加者の満足度、また、相乗効果として、市のPR効果を上げる方法として、市長がお祝いの歌を歌う等の企画の検討」については、羽生市では、成人代表者18名による実行委員会形式により成人式を実施しており、内容については、実行委員会で約1年</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項2 令和2年度当初教職員人事異動について</p> <p>報告事項3 小・中学校における3学期の表彰等の結果について</p> <p>報告事項4 令和2年3月 市内中学校卒業者の進路状況について</p>	<p>教育長</p> <p>学校教育課長</p> <p>学校教育課長</p> <p>学校教育課長</p>	<p>をかけて検討している。今後も実行委員会が企画していくが、その際には、参加者の満足度や市のPR効果を上げることについて働きかけをしていくと答弁した。「成人年齢の引き下げに伴う、今後の本市の成人式対象年齢」については、18歳を対象に成人式を行う場合、進学や就職など自身の将来に関わる大切な時期と重なるが、一方、成年に認められる権利の中には、飲酒など20歳からが維持されるものもあり、引き続き20歳は、人生にとって大きな節目となることに変わりはない。羽生市では、様々な状況を勘案しながら、成人式の対象年齢について検討していく旨を答弁した。</p> <p>報告事項2から4について、学校教育課長から説明を求めた。</p> <p>管理職については、校長3名、教頭5名が市外から転入した。新任の校長は1名、教頭は市内異動者を含め6名である。</p> <p>小学校の人事異動の概要は、定年退職者10名、転任者12名、転補者16名、転任新採用では、初任者9名、転任者18名、転補者14名である。中学校の人事異動の概要は、定年退職者3名、転任による転出が9名、市内転補による移動が3名、転入新採用では、本採用での新採用者はなし、転任による転入は6名、市内転補による異動は4名である。</p> <p>県レベル以上の表彰についてまとめたものを報告する。3学期は、1月に行われた児童生徒美術展、書き初め中央展覧会での入賞が多い。また、羽生北小学校の体育優良児童生徒表彰、学校保健優良児童生徒表彰、新郷第一小学校の学校保健優良児童表彰は、埼玉県に優秀な児童を推薦して表彰されたものである。</p> <p>市内中学校3校の卒業者の進路状況について報告する。進路が未定となっている生徒については、いずれもその後、進学又は就職先が決定したとのことである。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項5 令和元年度学校給食 実施状況について</p> <p>報告事項6 令和2年度学校給食 センター学校給食用 食材の放射性物質測 定について</p> <p>報告事項7 令和2年度学校給食 センター給食試食会 の実施について</p>	<p>教育長</p> <p>学校給食センター所長</p> <p>学校給食センター所長</p> <p>学校給食センター所長</p> <p>教育長</p>	<p>報告事項5から7について、学校給食センター所長から説明を求めた。</p> <p>給食人員は、小学校11校2,736名、中学校3校1,420名、学校給食センター34名、合計4,190名である。給食納付金調定額については、小学校1億1,263万3,248円、中学校6,992万3,735円、学校給食センター144万5,383円、合計1億8,400万2,366円であった。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月から学校が臨時休業となったことにより、3月の調定は無い。賄材料費は、1億9,181万3,551円であり、給食納付金調定額との差額781万1,185円については、羽生市の一般会計からの支出となる。</p> <p>保護者等に対し安全安心な学校給食提供の実証として、前年度までと同様に、毎月1回、宮代町役場に設置されている放射性物質測定装置を利用し、学校給食用食材の放射性物質を測定する。</p> <p>学校・家庭・地域と連携した食育を推進するため、学校給食センターにて学校給食の試食会を開催する。今年度は5回実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1学期実施分の2回を中止することとなった。9月29日、10月29日、11月27日の3回実施予定であるが、今後の新型コロナウイルスの状況を踏まえ、実施をするか検討していきたい</p> <p>報告事項8から10について、生涯学習課長から説明を求めた。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項8 羽生市生涯学習出前講座事業令和元年度実績報告及び令和2年度実施内容について</p>	生涯学習課長	<p>令和元年度の生涯学習出前講座は、28回実施し、延べ1,031人が参加した。講座内容の内訳は、市政に関するものが6回、市民生活に関するものが1回、福祉に関するものが9回、まちづくりに関するものが1回、健康スポーツに関するものが2回、その他ムジナモや羽生の文化財・歴史に関する講座などのリクエスト講座が9回であった。</p> <p>令和2年度の生涯学習出前講座は、市政10講座、市民生活3講座、福祉6講座、環境3講座、まちづくり4講座、教育6講座、健康・スポーツ3講座、消防1講座、その他リクエスト講座の全37講座について、希望する団体が申し込むこととなっている。今年度も引き続き、市民に市政に関する理解を深めてもらうため、ニーズにあった魅力ある出前講座を開催していきたい。</p>
<p>報告事項9 羽生市市民講師登録制度令和元年度実績報告について</p>	生涯学習課長	<p>専門的な知識や技術・技能等を持っている市民に、講座や教室等の講師として活躍いただく場や機会を提供し、生涯学習の市民講師の育成と充実を図るものである。令和元年度の実績は、3講座であった。なお、令和2年3月現在での登録講師数は59人である。令和2年度は、講師の再登録及び新規登録を進め、登録講師を拡充するとともに講師に活躍の場や機会を提供できるよう、公民館や市民団体等に、更なる制度の周知を図っていきたい。</p>
<p>報告事項10 令和2年度(第10期)子ども大学はにゅうの開催について</p>	<p>生涯学習課長</p> <p>教育長</p>	<p>子ども大学はにゅうは、今回で10回目の開催となる。実行委員会形式で運営し、募集人数は40名、対象は小学校4年生から6年生とする。市広報で周知する他、小学校を通じ対象学年全員にチラシを配布する。参加費は1,500円である。8月4日から6日までの3日間で、埼玉純真短期大学及び株式会社キットセイコーを会場とする。今回も引き続き、学校では教えてもらえない知的好奇心を刺激する事業を提供し、子どもたちの視野や将来の可能性を少しでも広げられるものとした。</p> <p>報告事項11について、スポーツ振興課長から説明を求めた。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項11 日本フロアカーリング協会公認 全国フロアカーリング大会 in 羽生の開催について</p>	<p>スポーツ振興課長</p>	<p>本大会は、生涯スポーツ推進のために普及している「フロアカーリング」を全国大会として開催することにより、羽生市を県内外に発信すると共に、フロアカーリングの更なる普及を図るものである。今年度は、5月1日から参加申し込みを開始し、6月20日の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加者及び関係者の安全を第一に考え、やむを得ず開催を中止することとした。</p>
<p>報告事項12 令和元年度羽生市立図書館・郷土資料館事業概要について</p>	<p>教育長  図書館長兼郷土資料館長</p>	<p>報告事項12について、図書館長兼郷土資料館長から説明を求めた。</p> <p>令和元年度の図書館の事業概要について報告する。羽生市立図書館協議会は2回開催した。事業の結果報告や事業計画案、運営基本計画案について協議を行った。図書館利用状況については、273日間開館し、来館者数は116,801人、貸出利用者数は55,204人、貸出数は229,815冊、DVD等の視聴覚資料の館内利用は1,637点であった。平成30年度と比較すると、コロナウイルスによる臨時休館により開館日数が20日減少し、他の数値も減少している。資料購入状況について、図書資料は、一般図書3,751冊、児童図書1,188冊、雑誌1,517冊など、計6,537冊を購入した。蔵書点検時に除籍処分となった図書5,724冊と相殺すると、令和元年度末の蔵書数は181,076となった。視聴覚資料は、DVD28枚を購入し、合計2,697点となった。実施事業については、全13事業を実施した。</p> <p>郷土資料館の事業概要について報告する。郷土資料館運営委員会は、2回開催した。事業の結果報告や事業計画案について協議を行った。収蔵資料の状況については、令和元年度は新たに文書・書籍資料68点を受入れ、収蔵資料合計18,755点となった。受入資料の内、15点は郷土資料館で購入したもので、残り53点は寄贈によるものである。購入した書籍資料は、市内社寺関連、宮澤章二関連、郷土関連、民俗関連の資料である。実施事業については、展示を3回行い、開催期間合計101日間で11,139人の入館があった。その他、講座、研修を7回開催した。</p>

会議事件名	て ん 末	
報告事項13 その他	教育長	その他の報告を求めた。
	教育総務課長	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止の対応について報告する。</p> <p>4月7日に国が緊急事態宣言を発令し、これを受け羽生市も新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催し、対応を決定した。市内小中学校については、4月9日から5月6日までを臨時休業とした。その間、授業や部活動、給食の支給は行わない。小学校1、2年生や、特別支援学級の児童など、自宅で一人で過ごせない場合は、通常の学校における在校時間範囲内で受け入れをしている。その際、子どもの送迎は保護者の責任とし、昼食を持参することとしている。また、入学式は、4月8日に規模を縮小して実施した。始業式も感染拡大リスクを回避するよう配慮し、実施した。休業期間中は、各学校で臨時登校日の設定を可能としている。</p> <p>体育館、図書館・郷土資料館、公民館、集会所等の施設は、4月9日から5月6日まで休館となっている。公民館の講座や図書館のおはなし会などのイベントなども中止とした。</p> <p>今後も、感染状況等を勘案し、臨時休業、休館の延長や、再開の判断をしていく。</p>
	教育総務課長	<p>中学校プールの廃止の時期について報告する。</p> <p>中学校プールの廃止時期については、当初令和3年度からとしていたが、羽生市立学校適正規模審議会委員の意見や施設の老朽化の状況、新型コロナウイルス感染拡大防止のための学校の臨時休業等の状況を踏まえ、やむを得ず令和2年度から廃止することとなった。</p>
	教育長	報告事項について、質問・意見を求めた。
	柿沼委員	小・中学校の表彰の結果について、該当なしの学校があるが、どのような状況であるか。

会議事件名	て ん 末	
	学校教育課長	報告は、県レベル以上の表彰をまとめたものである。3 学期はコンクール等が少ない関係もあり、残念ながら学校により該当がないという結果となった。
	高瀬委員	書き初め等の出品はしたのか。コンクールに最初から参加しなかったのか、それとも参加したが入選しなかったのか。
	学校教育課長	市内の書き初め展には全校が参加している。そこで特選となったものが県の書き初め展に出品される。参加はしているが入選がなかったということである。
	高瀬委員	体育優良児童生徒表彰や学校保健優良児童生徒表彰とは、どのようなものか。また、表彰された学校とそうでない学校との差は何か。
	学校教育課長	優良児童生徒表彰については、県から市に推薦を募集する文書が届き、それを受けて各学校に案内の文書を出している。それに応じて校長の推薦した児童生徒が表彰されているので、表彰がない学校については、校長からの推薦がなかったということになる。
	柿沼委員	中学校卒業者の進路状況について、遠方の私立高校に進学した生徒が何人か見受けられるが、スポーツ特待等であるか。
	学校教育課長	そこまでの情報は把握していない。
	柿沼委員	残念ながら市内の高校が定員割れになっている状況である。羽生の高校に行きたいという生徒の競争が高まる学校になれば、地域を引っ張ってくれると思う。近隣では、花咲徳栄高校が甲子園に出場し、年々生徒数が増えている気がする。学力だけでなく、スポーツでも地域を引っ張っている。羽生市の子どもたちのためにも、市内の高校に頑張ってもらいたい。
	教育長	羽生市には、「学び合い夢プロジェクト」という教育委員会と小中学校、高校、大学や幼稚園等、市内の教育機関が協力して学び合うための会があるので、そういう場でも委員の意見等伝えるこ

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第3 協議事項1 史跡永明寺古墳保存 活用計画の策定につ いて</p>	教育長	<p>とができればと思う。</p> <p>報告事項は、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>
	教育長	協議事項1について、生涯学習課長から説明を求めた。
	生涯学習課長	<p>永明寺古墳は墳丘や周堀が良好な状態で残されており、埋葬された人の副葬品や、はにわが出土していることから、埼玉県域の社会や文化を考える上で貴重な文化財として平成27年に埼玉県の史跡に指定された。本計画では、史跡の価値を維持し、次世代へと確実に継承するために史跡の本質的価値を明確にした上で、適切に保存・活用していくための基本方針や現状変更の取り扱い基準を示している。計画素案作成にあたっては、平成27年度から平成29年度にかけて、8回に渡り「永明寺古墳魅力づくり協議会」の会議を開催し、委員である古墳の研究者や史跡地の管理者、永明寺古墳保存会、下村君自治会の代表者の意見を反映し、取りまとめた。永明寺古墳の今後の保存管理や活用事業については、本計画を基に実施していく。</p>
	教育長	<p>協議事項1について、質問・意見を求めた。</p> <p>特になし</p>
	教育長	<p>協議事項1については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>
	教育長	協議事項1は、承認された旨宣した。

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第4 議案第37号 令和2年度羽生市学校運営協議会設置校の指定について</p>	教育長	議案第37号について、学校教育課長から説明を求めた。
	学校教育課長	対象校14校を、羽生市学校運営協議会設置校とすることについて、議決を求めるものである。小学校11校については、昨年度から継続、中学校3校については、今年度から学校運営協議会設置校として新規指定とする。指定の期間は、令和2年4月15日から令和3年3月31日である。
<p>議案第38号 羽生市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱</p>	教育長	<p>議案第37号について、質問・意見を求めた。</p> <p>特になし</p>
	教育長	<p>議案第37号については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>
	教育長	<p>議案第37号は、可決された旨宣した。</p>
	教育長	<p>議案第38号について、生涯学習課長から説明を求めた。</p>
	生涯学習課長	<p>羽生市子ども読書活動推進計画の策定及び評価を行うため、羽生市子ども読書活動推進計画策定委員会を設置するものである。</p>
	教育長	<p>議案第38号について、質問・意見を求めた。</p> <p>特になし</p>
	教育長	<p>議案第38号については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>議案第39号 宝蔵寺沼ムジナモ自 生地植生回復等検討 委員の委嘱について</p>	教育長	議案第38号は、可決された旨宣した。
	教育長	議案第39号について、生涯学習課長から説明を求めた。
	生涯学習課長	宝蔵寺沼ムジナモ自生地植生回復等検討委員に対象者7名を委嘱することについて、議決を求めるものである。委員の任期は、令和2年4月1日から令和4年3月31日までの1年間である。
	教育長	<p>議案第39号について、意見・質問を求めた。</p> <p>特になし</p>
	教育長	<p>議案第39号については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>
	教育長	議案第39号は、可決された旨宣した。
	教育長	議案第40号を、追加議案として上程する。
<p>議案第40号 羽生市スポーツ推進 委員の委嘱について</p>	スポーツ振興課長	対象者2名にスポーツ推進委員を委嘱することについて議決を求めるものである。委員の任期は、令和2年4月1日から令和4年3月31日までの1年間である。
	教育長	<p>議案第40号について、意見・質問を求めた。</p> <p>特になし</p>

会議事件名	て ん 末	
閉 会	教育長	<p>議案第 40 号については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>
	教育長	<p>議案第 40 号は、可決された旨宣した。</p>
	教育長	<p>次回教育委員会日程について、事務局より説明の旨。</p>
	教育総務課長	<p>5 月定例教育委員会は、5 月 27 日 午後 1 時 30 分より、 教育委員室にて開催する。</p>
	教育長	<p>閉会を宣した。</p> <p>教育長 _____</p> <p>委 員 _____</p> <p>委 員 _____</p> <p>書 記 _____</p>